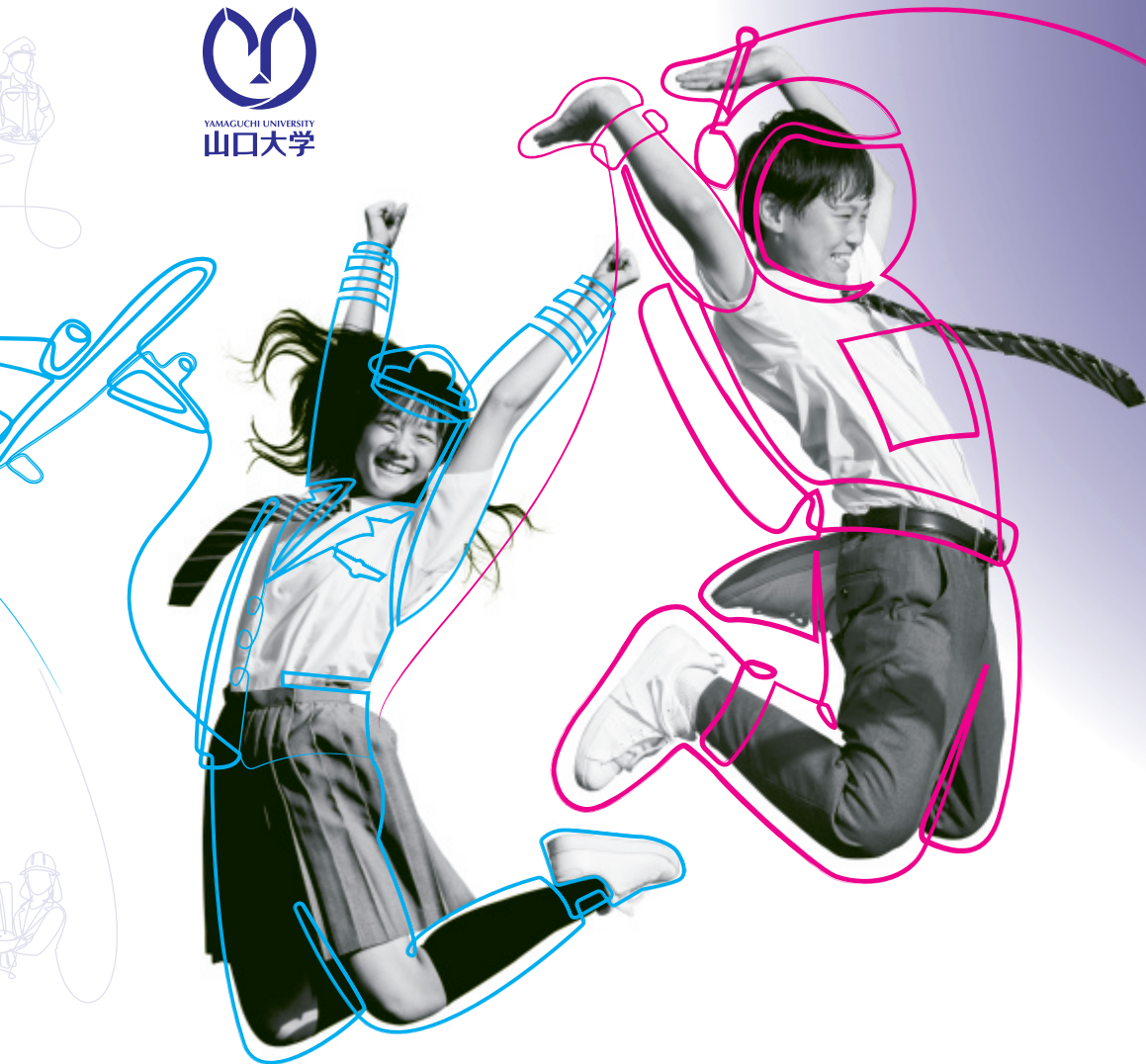




2025



*Go as far
as you
want!*



山口大学国際総合科学部のパンフレット
を手にとって頂き、ありがとうございます。

皆さんはこの国際総合科学部で何が学べ
ると思われますか。国際総合科学部という
名前の通り、国際や様々な科学に関するこ
とを学べると考えているのではないでしょ
うか。

まさに本学部は、様々な既存の枠組みを
超え、時代が求める新しい学びを行っている
学部です。

大きな特徴の一つとして、留学（1年
間）をしても4年間で卒業できるカリキュ
ラムが組まれています。また学内において
も留学生、そして様々な言語や文化に通じ
た教職員が多数おり、国内でも多くのこと
を学べます。

さらに、本学部ではこの新たな学問の体
系化を、デザイン思考をはじめとする様々
な思考方法を用いて試み、社会に存在する
課題を解決する力を養うことにも力を入れ
ています。高校までの文系・理系という枠

を超えた先の学びを進めているわけです。

社会は大きく、そして速く変化し、予測
が難しい時代と言われています。国際総合
科学部は、その時々が求める力を鑑
みながら、学びを進化しています。詳しく
は、このパンフレットを読み進めてくださ
い。きっと本学部の魅力を理解して頂ける
と思います。

これから大学を目指す学生そして保護者
の皆さん、ぜひ山口大学国際総合科学部を
進学先の選択肢に入れて頂きたい、そして
私たち「FGSS」のメンバーになって一緒
に学びを深めていきませんか。

皆さんの夢と一緒にかなえることを心よ
り楽しみにしています。

上田 真寿美

上田 真寿美
UEDA Masumi



国際総合科学部

FACULTY OF GLOBAL AND SCIENCE STUDIES

山口大学は、1815年に創設された私塾「山口講堂」を起源とし、地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設された日本で3番目に歴史ある大学です。

2015年には、私塾「山口講堂」創設から創基200周年を迎え、その年に第9番目の学部「国際総合科学部」が誕生しました。

国際総合科学科 1学部1学科
定員 1学年100名

国際総合科学部の養成する人材像

文理の枠を超えた幅広い知識を有し、日本語・英語等の言語をツールとした高いコミュニケーション能力と、デザイン思考による課題解決能力を持つグローバル人材を養成します。

1年間の海外留学で、国際感覚や異文化理解力を身に付け、国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力と共働力を育成します。また、企業や自治体と連携したプロジェクト型課題解決研究により、実践的な課題解決能力を鍛えます。

力と共働力を育成します。また、企業や自治体と連携したプロジェクト型課題解決研究により、実践的な課題解決能力を鍛えます。

これらのカリキュラムを通じて、国際舞台や地域社会の現場で直面する困難な問題を解決し、新しい価値、新しい社会を創造するグローバル人材を育てます。



FGSS における「デザイン」とは？

「デザイン」は、「設計する・計画する・企画する」といった意味ですが、その対象は、単にモノの色や形を越えて、新しい価値・体験・生活を含みます。これらのデザインを通じて、社会あるいは企業等の組織が抱えるさまざまな課題を解決することを狙いとしています。

DP1：幅広い教養と汎用的技能

DP2：専門的な知識・技能

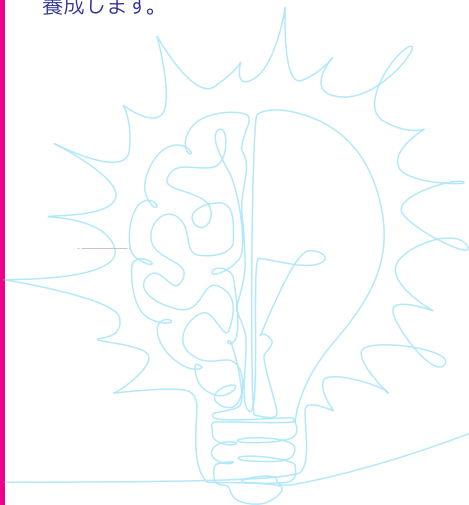
DP3：自律・協働する力と物事をかたちにする力

※DP：卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

学部概要

国際総合科学部のカリキュラムについて

変化が激しく、予測が困難な時代においては、社会の課題に柔軟に対応し、科学的に分析し、解決策を探究する能力が求められます。山口大学国際総合科学部では、文系と理系の様々な分野に関する基礎的な知識を持ち、複数の言語の運用能力を含む高いコミュニケーション能力と課題解決能力を有し、多様な分野や背景を持つ人たちのアイデアや意見、考えを調整し、一つにまとめ上げ、新しい価値を創造できる人材を養成します。



本学部のカリキュラムでは、4年次に行うプロジェクト型課題解決研究（PBL）を軸に課題解決系科目のほか、各専門科目をより緊密に結び付け、PBLを効果的に進める体系に編成しています。2年次後期からの1年間をグローバルイヤーと位置づけ、主に留学を通じて多様なグローバル人材として社会の課題を探究する能力を養います。学際的教育が重視され、文理一体で課題に取り組むことが求められる中、文理の枠を超えた人材の育成を強化します。データサイエンスを中心として科学的に分析する能力を養い、プロジェクト等で実践する経験を蓄積します。

教育課程は2年次後期から3年次前期の1年間のグローバルイヤーをはさんで、大きく前半と後半に二分されます。前半には主として基盤科目を、後半には展開科目、キャリアデザイン科目を配置します。また、4年間を通じてコミュニケーション科目、創造支援科目、課題解決科目を配置します。

基盤科目は、科学技術、思想・文化、政治・経済の各領域に関する基本的知識、科学技術リテラシー、デザイン思考を修得することを目的として設定された科目群で

す。具体的には、科学技術史、デザイン概論、知的財産入門、文化人類学概論などの科目が用意されています。入学直後の授業では、アカデミック・スキル科目、スタートアップ科目において、学修の基礎となるスキル（統計学入門、社会調査法など）、基本的な学び方を修得し、新入生が支障なく学生生活に入れるように配慮します。

展開科目は、基盤科目で培った科学技術及び文化・社会に関する知識・理解を深めるとともに、学生の志向性に応じて能力を発展させることを目的として設定された科目群です。具体的には、科学技術論演習、文化社会論演習、サービスデザイン、著作権法などの科目が選択科目として用意されています。





コミュニケーション科目は、単に語学力に留まらず、多文化理解能力、自己省察能力、共働力を涵養し、他者の意向を推し量り、また同時に、自らの考えや疑問を分かりやすく正確に他者に伝える能力を修得することを目的として設定された科目群です。具体的には、コミュニケーション学科目（コミュニケーション概論など）、英語科目（Elementary English Speaking など）、複言語科目（中国語、韓国語など）が用意されています。コミュニケーションツールとしての英語は、レベルごとのクラス分けによって自身の能力に見合った授業が受講でき、かつ4技能（話す、聴く、読む、書く）すべてを修得することを重視します。また、英語以外の外国語も卒業要件に含めることができます。

創造支援科目は、課題解決のために必要なスキルをそれぞれのレベルに応じて修得することを目的として設定された科目群です。具体的にはワークショップデザイン、コンピュータグラフィックスなどの科目があります。また、キャリアデザイン科目は、実社会における様々な問題について考察するとともに、そこで活躍するための基礎的な力を高めることで、実践的な課題解決能力を涵養することを目的として設定された科目群です。



課題解決科目は、実践を通じ高度な課題解決能力を修得するとともに、実践的に活躍することができる能力を涵養することを目的として設定された科目群です。基礎的な能力の修得から最終的には実社会での課題解決の実践までを段階的に行う仕組みになっています。グローバルイヤーにおいて自ら研究課題を発見し、探求するために、その前後の期間に研究手法の指導を行います。4年次に行なわれるプロジェクト型課題解決研究では、1年間を通じて実社会での課題解決を実践するため、企業等のパートナーとともに指導を行います。

以上のように国際総合科学部で学ぶことで、実社会で活躍できる力が身につき、鍛えられるものといえます。本学部でともに育み、明るく豊かな未来を作っていきます。

カリキュラム体系図



基盤科目: 大学生として必要な基礎的なスキルと各分野の基本的な知識の修得

- | | | |
|---|-----------------------|----------------------------|
| 1 | スタートアップ科目: 必修4単位 | 国際総合科学概論、STEAM 総論など |
| 2 | アカデミックスキル科目: 必修20単位 | ロジカル & クリティカルシンキング、ICT演習など |
| 3 | 科学技術リテラシー科目: 必修10単位 | 科学技術史、物質・エネルギー・環境など |
| 4 | デザインリテラシー科目: 必修/選択4単位 | デザイン概論、デザイン演習 |
| 5 | 知的財産リテラシー科目: 必修2単位 | 知的財産入門、知的財産法 |
| 6 | 文化社会リテラシー科目: 必修10単位 | 経済学概論、言語学概論など |

展開科目: 各分野のより専門的、応用的な知識・理解・能力の修得

- | | | |
|----|-----------------------|---|
| 7 | 科学技術論科目: 展開科目全体で8単位以上 | 科学技術論演習Ⅰ～Ⅳ |
| 8 | デザイン論科目: 展開科目全体で8単位以上 | サービスデザイン、インクルーシブデザイン、ビジュアルコミュニケーションデザイン |
| 9 | 知的財産科目: 展開科目全体で8単位以上 | 著作権法Ⅰ、特許法など |
| 10 | 文化社会論科目: 展開科目全体で8単位以上 | 文化社会論演習Ⅰ～Ⅳ |

- | | | |
|----|-----------------------------|---|
| 11 | コミュニケーション科目:
必修/選択12単位以上 | コミュニケーション概論、Elementary English Speaking、言語学習の理論と実践Ⅰなど |
|----|-----------------------------|---|

- | | | |
|----|---------------|---------------------------------|
| 12 | 創造支援科目:
選択 | ユーザーエクスペリエンス (UX)、ワークショップデザインなど |
|----|---------------|---------------------------------|

- | | | |
|----|-------------------|--|
| 13 | 課題解決科目:
必修13単位 | |
|----|-------------------|--|

・山口と世界
・グローバルイヤー準備・まとめ
・プロジェクト課題解決入門・研究・特論

※必修: 選4単位
・キャリア・デザイン入門
・実践キャリア・デザイン
・日本職場文化理解演習

※これらの科目に加えて、
キャリアデザインに関する科目も開講しています。



交換留学とグローバル教育について

今、グローバル教育は、必ずしも留学すればそれでいいという時代ではなくなっています。むしろ、世界に存在する多様な価値をいかに理解し、すり合わせる能力を身につけるかということこそが問われているのです。単に留学するだけのグローバルから、多様な価値観をすり合わせる能力を身につける「ニューグローバル」への転換。それこそが新しい時代のニーズだといっているでしょう。

そこで本学部でも、2年生後期から3年生前期の1年間を「グローバルイヤー」として位置づけ、課題解決のためのグローバルな視点（以下、「グローバル思考」）を身

につけるための期間として設定することにしました。この期間は、1年間の交換留学への参加を原則にしつつも、短期の留学、インターンシップ、オンライン留学などへの参加、グローバル思考醸成に重きを置いた授業の履修といった様々な形態を組み合わせながら、グローバル思考を身につけるための学びを各自で設計していけるように指導しています。

具体的に大学が提供する交換留学プログラムとしては、世界各国の様々な国・地域にある海外の協定大学での1年間の長期留学を基本としつつ、半年単位での留学も選べるようにしています。したがって、別の国に半年ずつ留学することも不可能ではありません。また、オンライン留学を選択したり、それと渡航留学を組み合わせることもできます。

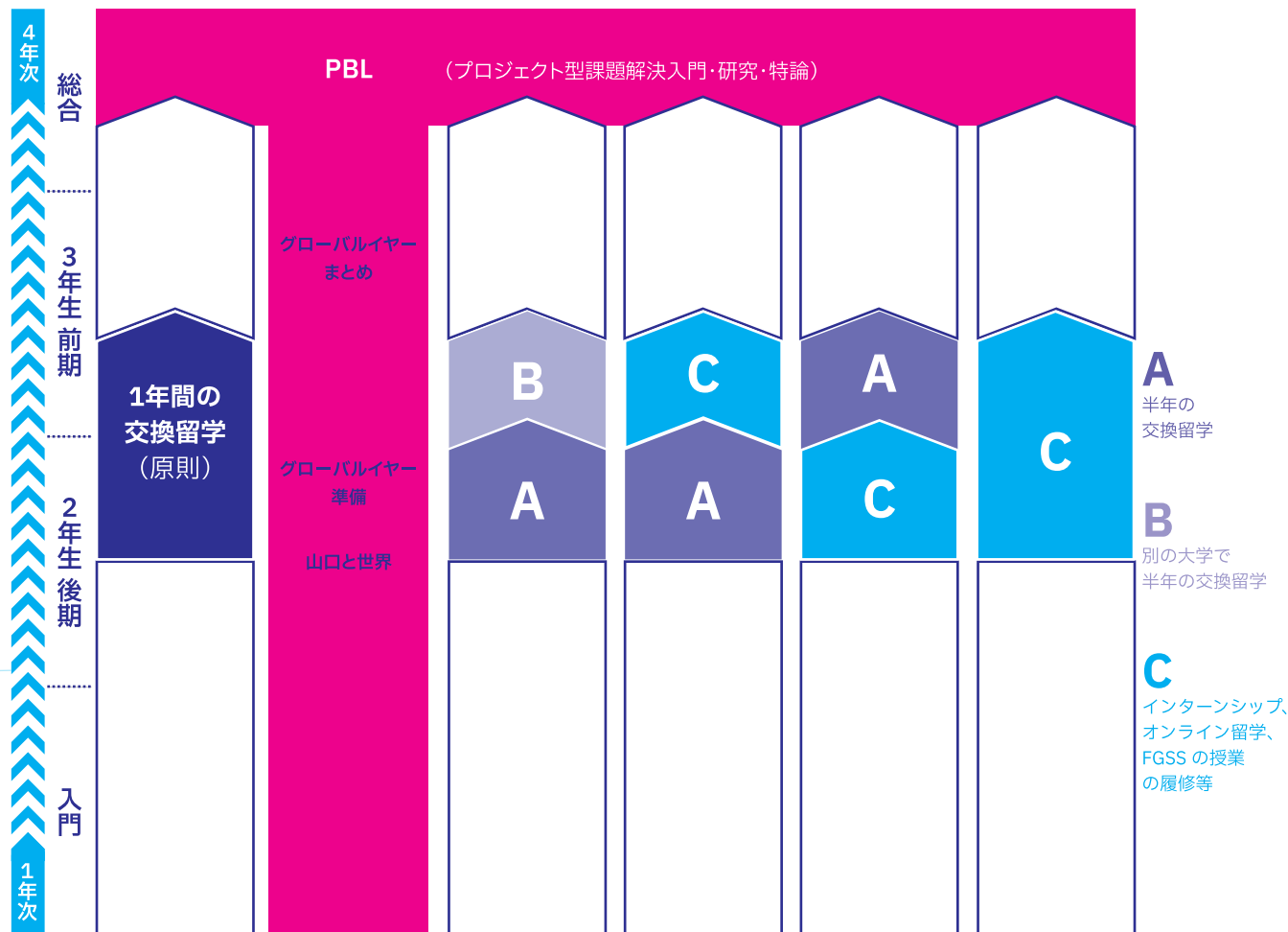
なお、世界のどの国・地域の大学を選んでも、英語で授業を受けることができます。場所によっては、英語以外のその国の言語を習得することもできます。

そして、グローバルイヤー以外の期間でも本学部は様々な授業等を通じて学生のグローバル視野を広げようとしています。仮に留学しなくてもグローバル思考が身につく多角的なグローバル教育プログラムを用意することで、パンデミックをはじめます

ます不確実化する国際社会にあっても、本学では安心して勉学に勤しんでもらえるよう工夫しています。



交換留学とグローバルイヤー



短期語学研修

1年生の夏に1ヶ月間、アジアの英語教育の中心となったフィリピン島に語学研修に行きます。TOEIC(L&R)600点相当以上を目指し、徹底的に英語力を高めます。

ディズニー 国際カレッジプログラム

1年間の留学には、アメリカのウォルト・ディズニー社が行うディズニー国際カレッジ・プログラムに参加できるコースもあります(成績・面接による審査があります)。半年間、インターンシップを行い、その後は、近隣の協定校であるヴァレンシア大学で学びます。

海外留学

2年生の秋から3年生の夏までの1年間、海外留学に行きます。国際社会で活躍するための幅広い知識と視野、高いコミュニケーションスキルを身につけます。
(留学には、TOEIC(L&R)600点またはIELTS(over all)5.0以上、GPA2.0以上および協定校で設定されているIELTS等の受け入れ基準をクリアする必要があります。)

アフリカ

ケニア

- ・ナイロビ大学

アジア

韓国

- ・仁荷大学校
- ・公州大学校
- ・韓国外国語大学校
- ・慶尚大学校
- ・ソウル市立大学校
- ・昌原大学校
- ・ソウル大学校
- ・亞洲大学校
- ・梨花女子大学校
- ・全北大学校
- ・群山大学校
- ・釜山外国語大学校
- ・忠北大学校

中国

- ・山東大学
- ・山東農業大学
- ・北京師範大学
- ・武漢理工大学
- ・貴州大学
- ・江蘇大学
- ・大連外国語大学
- ・西安交通大学
- ・重慶理工大学
- ・湖州師範大学

香港

- ・香港樹仁大学
- ・香港教育大学
- ・国立中興大学
- ・東海大学
- ・逢甲大学
- ・大葉大学
- ・静宜大学
- ・開南大学
- ・国立高雄師範大学
- ・淡江大学
- ・玄奘大学
- ・国立嘉義大学
- ・世新大学

台湾

インドネシア

- ・ブラビジャヤ大学
- ・ウダヤナ大学
- ・インドネシア大学
- ・バンドン工科大学
- ・ガジャマダ大学
- ・ボゴール農科大学
- ・シャリフ・ヒダヤトゥッラーイスラム宗教国立大学
- ・スブラス・マレット大学

タイ

- ・カセサート大学
- ・ソンクラ王子大学
- ・コンケン大学
- ・チェンマイ大学
- ・シーナカリンウィロート大学
- ・チュラロンコン大学
- ・キングモンクット工科大学ラカパン校

ベトナム

- ・ベトナム国立農業大学
- ・国立ハノイ教育大学
- ・カントー大学
- ・ベトナム国家大学ホーチミン市校 国際大学
- ・東部国際大学
- ・ダナン科学技術大学

マレーシア

- ・マレーシア工科大学
- ・サラワク大学
- ・クアラルンプール大学
- ・マラ工科大学

ミャンマー

- ・イエジン農業大学

ラオス

- ・ラオス国立大学

ヨーロッパ

イギリス

- ・シェフィールド大学
- ・セントラルランカシャー大学
- ・ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン
- ・エディンバラ大学
- ・バース大学
- ・イーストアングリア大学

ドイツ

- ・ホフ大学
- ・フリードリヒ・アレクサンダー大学エランゲン・ニュルンベルク
- ・ベルリン応用科学大学（ベルリン・ボイト工科大学）

ロシア

- ・モスクワ大学
- ・ロシア工科大学
- ・ロシア国立農業大学 モスクワ・ティミリャゼフ農業アカデミー

フランス

- ・リール大学
- ・ナント大学
- ・ボルドー大学

デンマーク

- ・サザンデンマーク大学

リトアニア

- ・ヴィータウタス・マグナス大学

スペイン

- ・ハイメ1世大学
- ・バルセロナ自治大学

ハンガリー

- ・エトヴェシュ・ロランド大学
- ・カーロリ・ゲーシュパール大学

アメリカ

アメリカ合衆国

- ・オクラホマ大学
- ・エルジンコミュニティカレッジ
- ・フィッチバーグ州立大学
- ・マンハッタンビル大学
- ・セントラルフロリダ大学
- ・ヴァレンシア大学 ※ディズニーインターナショナルプログラムへの参加及びバレンシア大学への留学プログラム
- ・ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ
- ・カリフォルニア州立ポリテクニク大学 ポモナ校
- ・セント州立大学
- ・ハワイ大学 ヒロ校
- ・ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ

カナダ

- ・リジャйна大学

ペルー

- ・ラ・モリーナ国立農業大学
- ・国立サンマルコス大学
- ・サン・イグナシオ・デ・ロヨラ大学

オセアニア

オーストラリア

- ・シドニー工科大学
- ・ニューカッスル大学

海外インターンシッププログラム

海外留学後は、英語で行われる専門科目の講義を受講することで、更なる英語力の向上を図りますが、語学力やコミュニケーション能力を生かして台湾等の企業で短期インターンシップ・プログラムにも参加できます。施設見学や業務の一部を担う就業体験によって、日本とは異なる企業文化に触れることができます。

グローバルに活躍するために

“日本を知り、世界を知る”

グローバルに活躍するために、必要となる能力。それは、語学に留まらないコミュニケーション能力及び海外の国々と日本に関する知識です。海外留学を通して留学先の歴史等に触れながら、国際社会で活躍するための幅広い知識と視野、高いコミュニケーション能力を磨きます。また、海外においてしっかり日本を発信できるよう、日本社会及び文化についても学びます。



交換留学・提携校一覧

2021年入学
増田悠希



私の留学での最大の成長は、「興味が無くても一度挑戦してみる」のマインドが身についたことです。留学中は、一生に一度しか無い機会に沢山のことに挑戦する、を常に心がけていました。その中で、今は興味がなくとも一度挑戦することでその面白さに気付いたり、逆に自分には合わないことを再確認したりと、自分の関心の裾野を広げることができました。大学4年間はあっという間です。思い切って飛び込むことでしか気付けないこともあるので、留学含めぜひ色々な事に挑戦してみてください！

2021年入学
アフザール
ミナヘル



私はデンマークに留学しました。留学条件は突破できたものの、留学先の勉強は想定以上にレベルが高く、日々授業の予習や課題、他の留学生との学力の差に悩まされていました。しかし、一年間の留学を通して自分の学力は大変伸びましたし、様々な国に旅行したり、何よりたくさんの留学生と交友関係を築いたり、留学を通してしかできない体験をすることができました。留学後でもその友人とお互いの国で会ったり、留学生として来日してくれる友人がいたりなど、一年間だけでない一生ものの友達に出会えたことが、私にとって留学の一番の思い出です。

2021年入学
五弓絢加



留学を通して、慣れない環境でも行動を起こし続けることの大切さを学びました。留学中は新たな情報に溢れているので、受動的でも日々刺激を受けることができます。しかし新たな機会に自分から飛び込んでみることで、かけがえのない出会いや経験をより重ねることができます。また言語学校では、様々な国籍や年齢の人たちとの出会いがありました。皆様々な境遇で様々なことに打ち込んでいて、自分がいかに狭い価値観の中で暮らしていたか気付かされました。留学は一年間の経験ですが、一生自分を奮い立たせる経験になると思います。

Studying abroad at Yamaguchi University was the best experience. During the year, I met many Japanese friends, and through them I was able to grow even further. Not only my friends at Yamaguchi University, but also my Buddy, instructor, and the staff of FGSS were actively helped in the process of adapting to my life in Japan.

In addition, Yamaguchi University has various events for foreign students, and I was able to meet new friends, and learn about various customs, holidays, and so on. It was good to be able to talk about cultural differences between countries that I had never thought about before. Thanks to the careful consideration of the International Science Department, I was able to make good memories of the year in Yamaguchi. I want to come to Yamaguchi again even if I go back to my home country.

My exchange year in Japan has been a wonderful and enriching experience. During the two semesters I was able to make many great friends and learned things about Japan and its language that I would not be able to learn through text books.

In the beginning I was afraid that I would have problems in the daily life and with finding friends, but the university provides help if needed and a lot of opportunities to meet other exchange students as well as Japanese students. Being able to experience life in another country was a great opportunity to expand my horizons and grow as a person. It also helped me with thinking about future plans, such as for example whether wanting to work abroad or in my home country.

I cannot believe that these 10 months are already almost over! I am glad that I was able to spend such a long time here.

山口大学での留学は最高の経験でした。1年の間、多くの日本人の友達に会えて、彼らを通じて私はさらに成長することができました。山口大学の友達はもちろん、私のBuddyと指導教授、国際総合科学部の職員の方々まで私が日本生活に適應していく過程で積極的に助けてもらいました。

それだけでなく山口大学には留学生のための多様なイベントがあって新しい友達との出会いが可能で、日本の多様な風習、名節、文化などを学ぶことができました。授業でも今まで考えたことのない国間の文化の違いについても話ができて良かったです。

山口大学への留学はすばらしく楽しい経験でした。留学中に日本の文化や日本語について教科書だけでは分からない多様なことを学び、たくさんの友達をつくることもできました。

最初は、慣れない生活での様々な障害や友達ができないなどの不安がたくさんありましたが、山口大学がいろいろ助けてくれました。また、留学生と日本人学生の交流イベントがたくさんあって、楽しい時間が過ごせました。

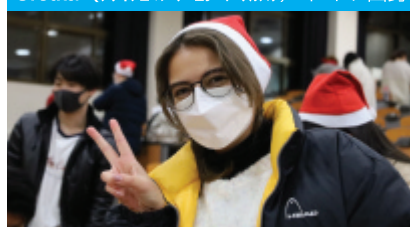
外国に留学したことで、自分の視野が広がり、よりよい人間になれたと思います。また、将来についても、自国だけでなく海外

Yena（フョ イ） 韓国出身



国際総合科学部の皆さんが丁寧に気遣ってくださったおかげで、山口での良い1年の思い出を作ることができました。母国に帰ってもまた山口に来たいです。

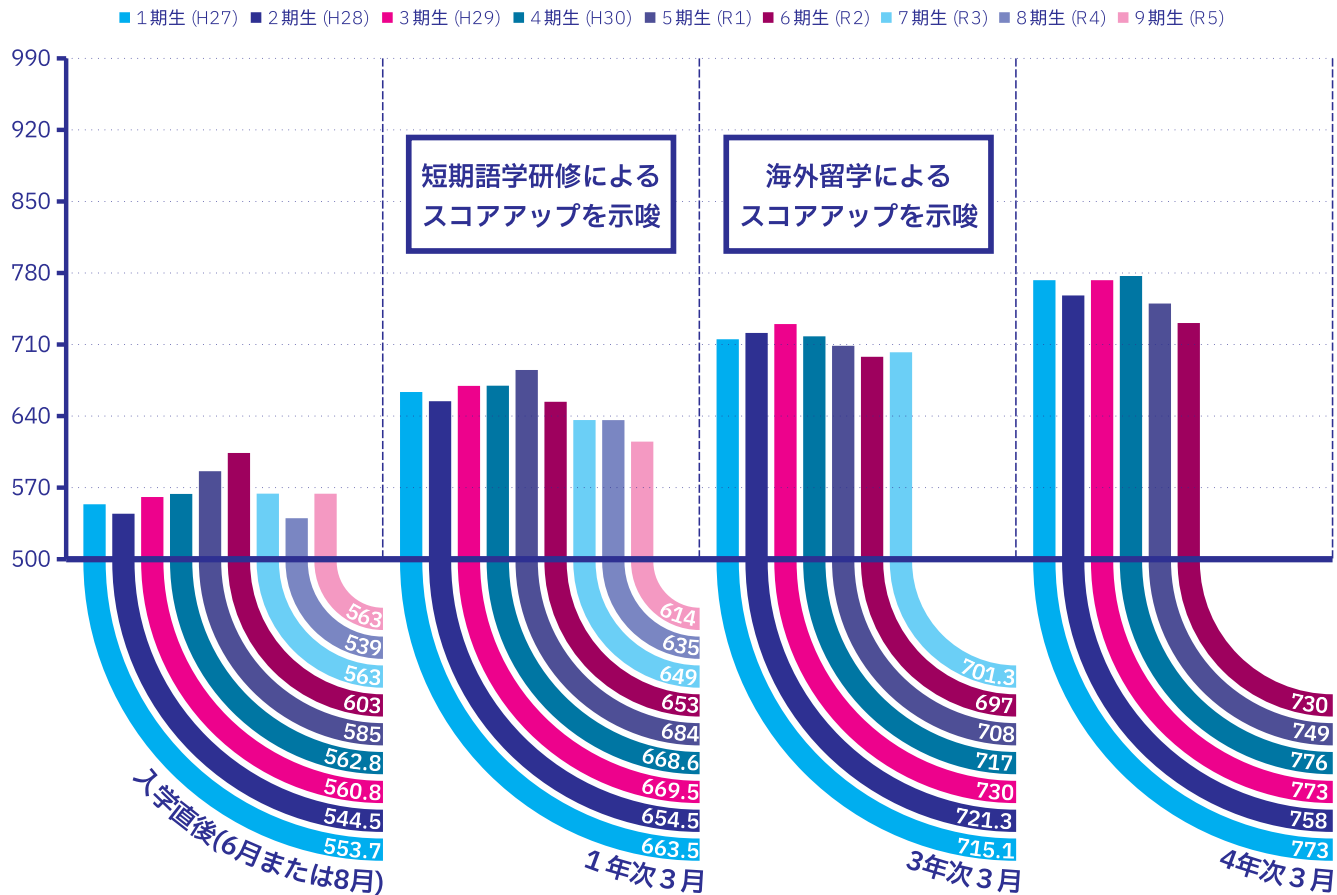
Ursula（フライマツガエルナウス） ドイツ出身



で仕事することなどいろいろ考えることができました。

もうすぐ留学期間の10か月が終わってしまうことが信じられません。山口大学で良い経験ができたことをうれしく思います。

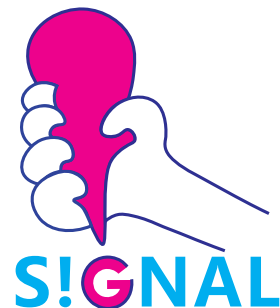
TOEICスコアの推移



学部公認サークルについて

学部公認のサークルとして、FGSSER（ふぐさー）、デザインサークル SIGNAL（シグナル）、エンタメサークル姫山、Palet's（パレット）の4団体があります。

FGSSER は、学部生と留学生間の交流の場を設け、お互いに充実した大学生活を実現するために活動しているサークルです。学部主催の国際交流イベント支援のほか、学生独自のイベントも企画・運営しており、学年や国籍といった垣根を超えて、グローバルかつアットホームな雰囲気です。異文化交流を促進しています。



SIGNAL は、公開イベントのポスターや山口大学が策定した「明日の山口大学ビジョン 2030」のイラスト制作に加わるなど、学部を越えて大学全体や学外にも活動を広げています。

姫山は、留学生の書道体験活動や、学部行事に使用する掲示物の揮毫を行うほか、学生同士のスポーツ交流イベントなども積極的に企画・運営しています。

Palet's は、国際総合科学部生と高校生を繋げることにより、高校生の進路学習のきっかけを作る活動をしています。

PBL (Project based learning)

概要

国際総合科学部では、3年次の後半から4年次にかけて、従来の「卒業研究」に代えて、「プロジェクト型課題解決研究」(Project Based Learning: PBL)を実施しています。これは実社会で多様な主体と連携しつつ課題解決できる人材を育成することを目的として、社会が抱える諸課題を解決するためのプロジェクトを学生が必要に応じて企業、地方自治体、NPO法人等と協力して行おうとするものです。

コース

実施するプロジェクトは、プログラム・コースとオリジナル・コースからなります。プログラム・コースは、あらかじめ協力を依頼する企業や地方自治体、NPOなど（パートナー）が決まっており、オリジナル・コースは学生自らが地域でパートナーを探します。いずれのコースも、学生とパートナーが協議のうえ、プロジェクトを企画・実践し、課題の解決を目指します。

活動

プロジェクトの活動は、学生がこれまでに学んだデザイン思考に基づいて、学生自身が主体的に行います。担当教員の役割は、週に1回、現在の活動状況や今後の活動方針の確認を行い、課題解決のために必要な情報の収集方法（文献や資料の探し方、専門的な知識・ノウハウを持っている人を紹介する等）や問題を抱えているようであれば適宜アドバイスをします。

学生自らが複数の専門分野にわたる知識や情報を習得・融合・活用する事を促し、これからの時代に必要とされる課題解決能力や新たな価値創造を行う能力の涵養を図ります。

2025年度 PBL 協力自治体・企業等

企業との連携（13組）

- ・ NTT 西日本山口支店
- ・ 株式会社イミカ
- ・ 株式会社カワト T.P.C.
- ・ 株式会社 QQ English
- ・ 株式会社三和
- ・ 株式会社サーティファイ
- ・ 株式会社 JTB 山口支店
- ・ 株式会社 POPS 川上 山口店
- ・ 株式会社レノファ山口
- ・ トヨタカローラ山口株式会社
- ・ トヨタレンタリース山口
- ・ 山口放送株式会社
- ・ RING 株式会社

地方自治体等との連携（3組）

- ・ 岩国市周東町
- ・ 周防大島町
- ・ 美祢市

NPO・団体等との連携（7組）

- ・ 一の坂川ぼたる広場の会
- ・ 一般財団法人たんぼの家
- ・ 協同組合維新
- ・ 富海地域活性化協議会
- ・ 山口県立総合医療センターへき地医療支援センター
- ・ 山口大学生生活協同組合
- ・ 山口南ロータリークラブ

大和春信松緑窯



文化芸術への関心は社会の中での創造性の発揮につながると言われています。しかし近年、若年層の文化芸術への関心は低下しています。家庭によって子どもが文化芸術に触れる機会も大きく異なります。

伝統工芸は、そこに暮らす人々にとってもっとも身近で触れやすい文化芸術である点で、この問題に寄与する価値を有しています。しかし公教育において伝統工芸に触れる機会は限定的です。また、伝統工芸は様々な理由によりその存続に課題を抱えています。

そこで本プロジェクトでは、萩焼の伝統窯である大和春信松緑窯の協力のもと、文化芸術に触れる機会の創出・創造性の涵養・伝統工芸への関心の向上を目的に、山口市内の学童を中心にワークショップを実施し、萩焼に様々なかたちで触れる機会を創出しました。

活動を進めるなかで、想定外の活動を通して参加者が多様な学びを創発することに

気付きました。この発生の機序がわかれば、よりよい学習経験をもたらす学習環境が設計できるかもしれません。充実した学習経験は、上述の目的を達成するための基盤です。そこで注目したのは、ワークショップで提供される萩焼の粘土や道具などの物事へのアクセス可能性です。分析によって、これらのアクセス可能性の開放が子どもの自発的かつ創発的学習につながるものが明らかになりました。本プロジェクトは、分析を踏まえ、学習環境デザインの観点からワークショップのデザイン提案を行いました。

協同組合維新



本 PBL では、協同組合維新をパートナーに、「多文化共生」「情報」をテーマとしたガイドブックの作成を行いました。

山口県に暮らす外国人は、2022 年 12 月と比べると、2024 年 6 月時点でインドネシア籍は約 2 倍、ミャンマー籍は約 3 倍と顕著な増加が見られます。外国人が

日々の生活で、日本語で情報を得なければならない場面は少なくありません。外国人は、身近な人を頼ることも多く、支援者や自治体の負担が増加します。一方で、行政にも、多言語での翻訳や様々な媒体での情報発信は限界があります。

本 PBL では、外国人、自治体、日本語教室の関係者に調査（インタビュー、アンケート）を行いました。さらに、外国人の情報検索のモニタリング調査やアンケートを実施し、日本語能力や滞在期間などの情報から、外国人が求める情報に傾向が見られました。結果に基づき、「山口県に住む外国人が地域で暮らしていくために社会や地域の人と関わりながら、『外国人』から『住民』となっていく過程を支える」ことを目的とした『知りたいことを探そう！～外国人のための情報ガイドブック～in Yamaguchi』を作成しました。ガイドブックには、地域活動、仕事などの身近な情報の取得方法に加え、効率のよい情報収集のための検索アドバイスを盛り込みました。作成後は、情報への到達度合などを評価し、ガイドブックが基本的な情報検索を助けるものであることを確認しました。本 PBL では、「情報」を切り口とした多文化共生社会の基盤づくりに貢献できたと考えています。

美祢市



NY タイムズ紙によって、山口市が「2024 年に行くべき 52 カ所」に選ばれたことを受け、そのついでに隣接する美祢市まで足を運んでもらうプロジェクト「ついでに寄ってみ～ね」を実施しました。具体的には、日本らしさを演出できる「おみくじ」という媒体を活用し、それによって偶然美祢市についての情報を得てもらう「ついでに旅行」を考案しました。もっとも、最初はすでに山口市を訪れている外国人観光客をターゲットにしていたのですが、調査の結果、突然旅行のプランを変えるのは実際には難しいことが判明しました。そこで、おみくじの活用方法を少し変更し、旅行前に偶然情報を得ていたらどうなるか検証してみました。もともと美祢市は台湾と交流があり、台湾からの観光客をメインターゲットにしていたこともあって、この検証は台湾で行いました。その結果、多くの方が事前に知っていれば美祢市を訪れたいと考えていることがわかりました。さら

に、この仕組みを確立するために、映像などを用いておみくじを引いてもらう仕掛けも考えましたが、そここのところはまだ課題が残っています。今後私たちの考案したおみくじによる「ついで旅行」が広がり、美祢市を訪れる外国人観光客が増えることを期待しています。

株式会社 JTB 山口支店



本プロジェクトでは、株式会社 JTB 山口支店と連携し、関係人口の創出を目的とした様々な活動を行っています。

関係人口とは、当該の地域や商品に何らかの形で関わる人たちのことです。例えば、地域であれば、観光客として実際にその地域に足を運んでくださる人たちは言うまでもなく、その地域のことをネットで見てくださるだけの人たちも含まれます。どのような形でよいので、少しでも地域や商品とつながってくださる方々を増やすためにはどうすればよいか、これが本プロ

ジェクトの課題です。

2023 年度プロジェクトでは、「つくってみよう！山口の伝統工芸 ～瑠璃光寺五重塔改修工事に伴う観光体験コンテンツ制作～」というテーマのもと、株式会社長州物産の御協力を得て、長州苑での工芸体験に新たなプログラムを導入しました。大人人形絵付にコマという遊び要素を取り入れたり、和紙の染付に香りを導入したペストリーにしたりしました。

2024 年度プロジェクトでは、「～つまんでちゃんまげ広報部 Presents ～つまんでちゃんまげ認知度拡大大作戦～」というテーマのもと、岩国市が推している「つまんでちゃんまげ」ブランドの広報を行いました。認知度を拡大するために、ブランド商品の季節ごとの紹介 POP を作成したり、ゆめタウン山口の御協力のもと試食会を開催したりしました。

いずれの場合も、イベントを開催するだけでなく、アンケートやインタビューをすることによって、様々な年齢層の意識や認知度のデータを収集・分析しています。

2023 年度卒業生 就職状況

国際総合科学部では、プロジェクト型課題解決研究、グローバル・インターンシップ演習など、課題解決能力を修得する科目を通じて企業との関わりを深めています。就職活動が本格化する前に企業の考え方を学ぶことができるため、就職先の決定に大変役立ちます。また、本学部では就職支援部会を組織し、個別面談対応など、きめ細やかなサポート体制で学生の就職活動を支援しています。

就職先一覧

- ・ アヲハタ株式会社
- ・ 英進館株式会社
- ・ NTT データフォース株式会社
- ・ N T T ワールドエンジニアリングマリン株式会社
- ・ 大島造船所
- ・ オタフクホールディングス株式会社
- ・ 学校法人河合塾
- ・ 神奈川中央交通株式会社
- ・ 株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS
- ・ 株式会社 メガネトップ 眼鏡市場
- ・ 株式会社 Calbee
- ・ 株式会社 HGC ホールディングス
- ・ 株式会社あおぞら銀行
- ・ 株式会社アカウンタックス
- ・ 株式会社麻生
- ・ 株式会社池田建設
- ・ 株式会社一条工務店
- ・ 株式会社イトーキ
- ・ 株式会社鷗州コーポレーション 鷗州塾
- ・ 株式会社大木
- ・ 株式会社大塚商会
- ・ 株式会社オープンハウス・アーキテクト
- ・ 株式会社クレオ
- ・ 株式会社鴻池組
- ・ 株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ
- ・ 株式会社シティ・コム
- ・ 株式会社スギ薬局
- ・ 株式会社タップカンパニー
- ・ 株式会社地域情報センター
- ・ 株式会社東京海上日動コミュニケーションズ
- ・ 株式会社ドコモ CS 九州
- ・ 株式会社ネオキャリア
- ・ 株式会社農協観光
- ・ 株式会社ピーアールデイリー
- ・ 株式会社ひらまつ
- ・ 株式会社広島銀行
- ・ 株式会社豊和銀行
- ・ 株式会社ホークスタウン ヒルトン福岡

以下の要件すべてを満たすこと。

- I. 規定に基づいた単位（124 単位）を修得すること
- II. 外国語の試験において以下のいずれかを満たすこと
 1. 英語で **CEFR※の B2 レベル**（英検準 1 級レベル）に準拠した成績を修めること
 2. 英語で **CEFR の B1 レベル**に準拠した成績を修め、かつ、英語以外の外国語で所定の成績を修めること
- III. 授業の成績から算出される個人スコアが学部の定める要件スコアを満たすこと

※CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）…外国語学習者の言語能力を評価する国際指標。

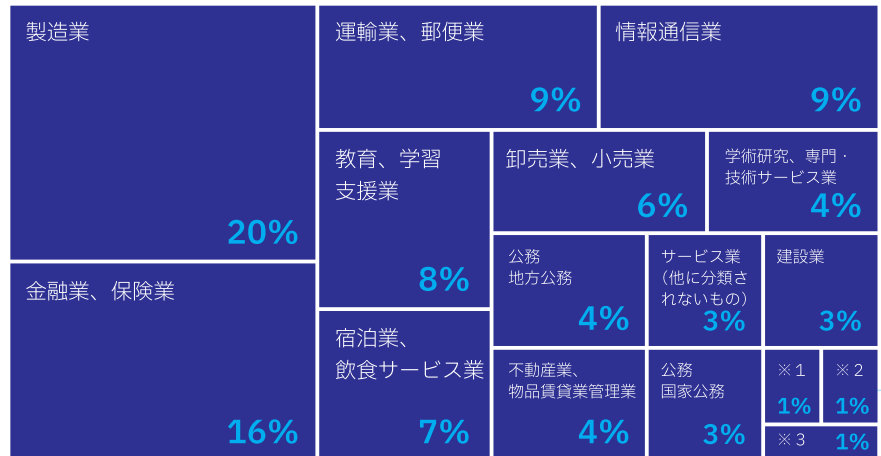
※各試験、検定レベルの成績と CEFR のレベル対象関係については、別に定める。

シーホーク

- ・株式会社マイスターエンジニアリング
- ・株式会社マキタ
- ・株式会社宮崎銀行
- ・株式会社山口銀行
- ・株式会社良和ハウス
- ・株式会社ロジテム九州
- ・株式会社わ
- ・霧島ホールディングス株式会社
- ・コニー株式会社
- ・山九株式会社
- ・スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
- ・全日本空輸株式会社
- ・第一生命保険株式会社
- ・大日精化工業株式会社
- ・中国電力株式会社
- ・デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社
- ・テルモ山口株式会社
- ・東洋証券株式会社
- ・TOYO TIRE 株式会社
- ・トラスコ中山株式会社
- ・日本航空株式会社
- ・日本交通株式会社
- ・日本食研ホールディングス株式会社
- ・日本たばこ産業株式会社
- ・日本電気株式会社

- ・日本ヒルトン株式会社
- ・日本リージャスホールディングス株式会社
- ・野村證券株式会社
- ・パシフィックコンサルタンツ株式会社
- ・PCI ソリューションズ株式会社
- ・フジドリームエアラインズ
- ・丸紅フォレストリンクス株式会社
- ・ミネベアミツミ株式会社
- ・明治安田生命
- ・明治安田生命保険相互会社
- ・山口日産自動車株式会社
- ・ヤマハ発動機株式会社
- ・リーガロイヤルホテル小倉

- ・ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・熊本県庁
- ・財務省 東京国税局 (専門職)
- ・大学生協事業連合九州地区
- ・長崎県庁
- ・広島市信用組合
- ・福岡市役所
- ・防衛省 航空自衛隊 (専門職)
- ・防衛省 陸上自衛隊 (一般職)
- ・山口県庁
- ・山口大学



※1：医療、福祉

※2：生活関連サービス業、娯楽業

※3：電気・ガス・熱供給・水道業

掲載：企業・官公庁ごとに50音順

株式会社 Calbee

2023 年度卒業 山崎駿人

私が入社したカルビー株式会社は、ポテトチップスやじゃがりこ、かっぱえびせんなどのスナック菓子や、フルグラのようなシリアル食品の製造・販売を行っている会社です。

私は東日本物流部に所属し、ポテトチップスのコントローラーとして日々需給管理に努めています。具体的には、東日本全域の出荷・在庫管理や生産計画の作成などが主な業務です。

物流部は川下（生産）から川上（販売）まで、商品の一連の流れに携わっており、その分大変なことも正直たくさんあります。しかし、自分たちの努力が皆さんに安全で美味しいお菓子を届けることに直結するという点では、非常にやりがいのある仕事だと感じています。

物流部ではさまざまな分野の方々とコミュニケーションをとることが不可欠ですが、これは物流部に限らず、どの部署に配属されても必要なスキルだと思います。そのスキルを身につける機会が豊富にあるのが国際総合科学部の良さであり、強みであったと卒業後に実感しました。ぜひその貴重な機会を活かし、どこでも活躍できる人材を目指して頑張ってください。陰ながら応援しています！

大島造船所 船舶営業部

2023 年度卒業 渡邊 完

大島造船所は、バルクキャリアというばかりの貨物船を造っています。バルクキャリアは穀物・石炭・鉄鉱石などを運ぶ船で、世界中の人の生活を支えています。私の所属する船舶営業部は、新造船の商談から契約までの業務を行います。

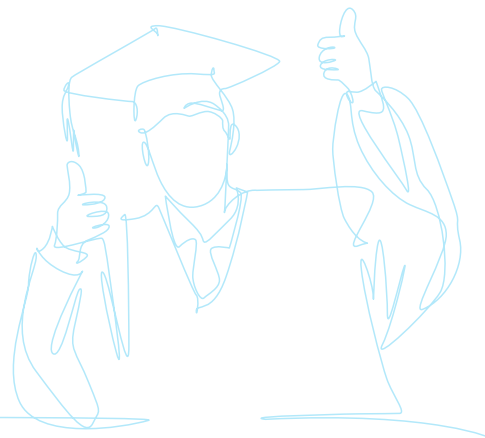
業務の中では社内外の多くの方と連携し、引き合いから成約まで円滑に進められるように調整します。船の値段に定価はなく、材料費や海運の市況によって変化するため常にアンテナを張っておく必要があります。毎日学び続けることが必要であり、刺激の多い環境に身を置くことができます。

本学部の学びにおいては日々新たな学問に触れる講義が数多くあることで、多方面に興味と関心を持って勉学に励むことができました。私は入社まで全くと言っていいほど造船・海運業界の知識はありませんでしたが、常に好奇心を持って学ぶ姿勢が養われたことは確実に仕事の中でも必要なことであり、活きていると言えます。

また、PBLをはじめとしたグループワークの多いカリキュラムにおいて、学部内外の様々な立場の方とコミュニケーションを図ることが求められますが、そこで培った経験も活かしています。相手との会話の中で

性格や特徴をとらえ、アプローチの仕方を試行錯誤することで物事をうまく進めることに繋がると日々の業務から実感しています。

本学部では様々な学問の入り口を覗ける機会が常にあることで自分自身の興味を広げることもなりますし、新たな一面を発見することにもなります。国際総合科学部は人生の選択肢を広げ、周りの友人たちと切磋琢磨することができる環境を与えてくれます。その中で自分を磨くことが必ず血となり肉となっていくと思います。



福岡市役所

2023 年度卒業 大武 楓果

私は、福岡市職員として子育て支援業務に携わっています。認可保育園の入所調整や特別児童扶養手当の申請受付・認定などを担当しています。

私は、これまで、子育て支援に関する分野に携わったことはありませんでした。それゆえ、日々新しいことの連続です。振り返ると、大学在学中の4年間も、新たに挑戦することばかりでした。デザインに関する授業やプロジェクト型課題解決研究(PBL)、1年間の韓国交換留学、3週間の韓国研修など、どれも新たな経験です。これらの経験を通して身に付けた、新たなことに挑戦する姿勢や、幅広い分野に触れて知らないことでも貪欲に学ぶ姿勢は、現在、子育て支援という新たな分野に携わり、日々業務を進める上での基盤になっていると感じています。

私は、本学部で良き先生、そして良き友人に出会うことができました。PBLでは、3年生後期から卒業までの1年半の間、メンバーと協力しプロジェクトを進めました。時には、夜遅くまでメンバーと作業を進めることもありましたが、今となっては良き思い出です。卒業した今でも連絡を取り合う友人に出会い、あらゆる経験を積み重ねることができた4年間は、間違いなく私にとって一生の財産です。

山口大学

2023 年度卒業 河野 寿咲

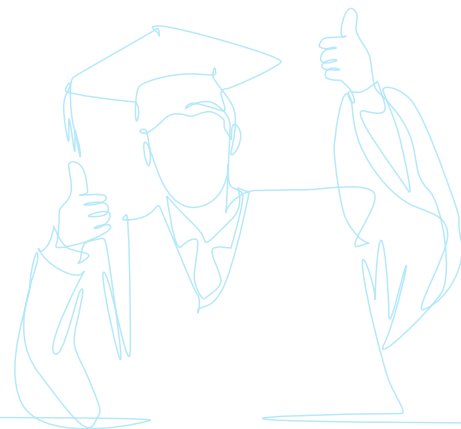
私は山口大学の職員として、地域活性化人材育成事業(SPARC)に従事しています。地方には、少子高齢化や過疎化、人と人とのつながりの希薄化といった多くの課題が存在します。こうした地域課題を的確に捉え、DXを実践できる人材を育成することが、この事業の大きなミッションです。

事業を推進するうえでは、学内外の多様な人々との連携が欠かせません。それぞれの意見を尊重しつつ、最適な解決策を見つけ、最終的には全員が納得する道を導き出す。毎日のように繰り返されるこのプロセスから、私は対人力の重要性を実感しています。

本学部では、PBLをはじめとするグループワークを通じて、異なるバックグラウンドを持つ人々と意見を交わし、共通の目標に向かって協働する機会が豊富にあります。時には意見が衝突し、思い通りにいかないことも。しかし、そんな時こそむしろチャンスです。そして、このような経験は後に大きな財産となり、実社会で必ず役に立ちます。

これから進学される皆さんも、学部で会う仲間たちと共に、多くの挑戦や経験を楽しみながら、自分の可能性を大いに広げ

ていってください。失敗も成功の母！かもしれません。





ウェブサイト

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/gss/>

代表電話

083-933-5213

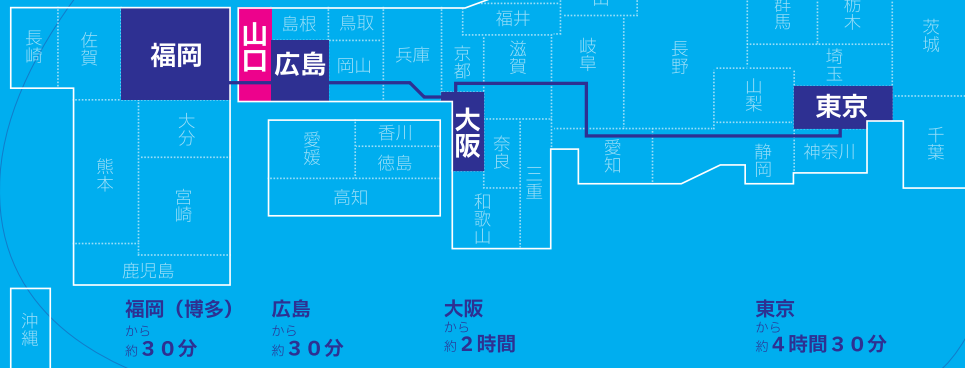
メール

gl004 @ yamaguchi-u.ac.jp



入試に関する情報

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>



東京 (羽田)

から

約 1 時間 30 分

山口宇部空港

宇部市営バス

37分

特急

JR新山口駅

JR山口線

20分

JR湯田温泉駅

10分

徒歩

20分

防長バス

30分

平川経由※

山口大学前

3分

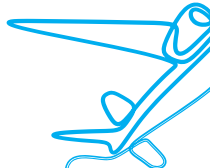
吉田キャンパス

※他のルートもありますが、乗り換えが必要です

山口大学
吉田キャンパス

〒 753-8541
山口県山口市
吉田 1677-1

アクセス・交通案内・お問い合わせ



<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/gss/>